



北上川

学校教育目標
かしこく やさしく たくましく
～ふるさとを愛し、未来を創る川崎の子～

一関市立川崎小学校 校報 No. 3
令和7年5月30日発行

文責 山戸

勝敗を超えて 全力を出し切った運動会！

4月に川崎小に着任してから、毎日、児童一人一人の成長は、朝の街頭指導や教室での授業での様子を通して、肌で感じていましたが、5月24日の運動会では、正直、**驚きと感動**の連続でした。

21日の総練習の時点では、セレモニーでの態度（話を静かに聞く。体を動かさない。）や、一連のキビキビした動作、応援の声などに課題がありましたが、当日はどうだったかといいますと、**すべてが改善**、いや、**大きく進化**し、何よりも児童一人一人から、運動会を成功させようとする**気迫と熱意**が感じられました。

特に、6年生のリーダーシップは見事でした。一つの例が応援合戦です。3分間、間髪入れずに応援団リーダーが指示を出し続けたところ、赤・白ともに全員が声を張り上げていました。

それにより、**両軍の士気**が高まったことは、言うまでもありません。

その士気の高まりは、全校児童のすべての種目に表れていました。1～3年生の表現は、リズムの楽しさと共に、組体操的なウェーブにまとまりがあり、見事でした。4～6年生のリレーは、手に汗握る攻防でした。何よりも全員の全力疾走が、迫力満点でした。

閉会式後の陣地では、6年生の応援リーダーや、6年生が、涙を流しながら「みなさん、一緒に全力で応援してくれてありがとうございました。」と赤・白それぞれの児童に伝えている姿があったと、先生方から聞きました。そこには**勝敗を超えた、達成感や感動**があったのだと思います。

川崎小学校の歴史に残る運動会を見せてくれた児童に、大きな拍手を送りたいと思います。準備や後片付けに、ご協力頂きました保護者の皆様方に、心より感謝申し上げます。

